

他の組織等での経験

- ・国土交通省
- ・海外留学/海外研修
- ・練習船「こじま」航海実習
- ・南極地域観測隊 など

他の組織等での活躍

- ・国際機関
- ・大使館
- ・内閣官房
- ・海上保安大学校 など



官付・係員

官・係長

主任官

課長補佐

管理職へ

調査・観測/研究/技術開発

政策立案/組織管理

採用情報

採用区分（最新の情報は人事院ホームページをご確認ください）

国家公務員採用総合職試験（平成26年度）

院卒者試験：昭和59年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの

- (1) 大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び平成27年3月までに大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了する見込みの者
- (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

大卒程度試験：(1) 昭和59年4月2日～平成5年4月1日生まれのもの

- (2) 平成5年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
- ア 大学を卒業した者及び平成27年3月までに大学を卒業する見込みの者
- イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

試験区分

「工学」、「数理学・物理・地球科学」、「化学・生物・薬学」、「農業科学・水産」
(院卒者試験、大卒程度試験とも)

採用実績（総合職職員及び1種職員）

採用区分		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
総合職	工学					0	0
	数理学・物理・地球科学					1	2
	科学・生物・薬学					0	0
	農業科学・水産					1(1)	0
種	理工（一般工学系）	0	0	0	2(1)	0	0
	理工（数理学系）	0	0	0	0	0	0
	理工（物理・地球科学系）	1	0	1	0	1	0
	理工（化学・生物・薬学系）	0	1	0	0	0	0
	農学（水産系）	1(1)	1	1	1	0	0
計	2(1)	2	2	3(1)	3(1)	2	

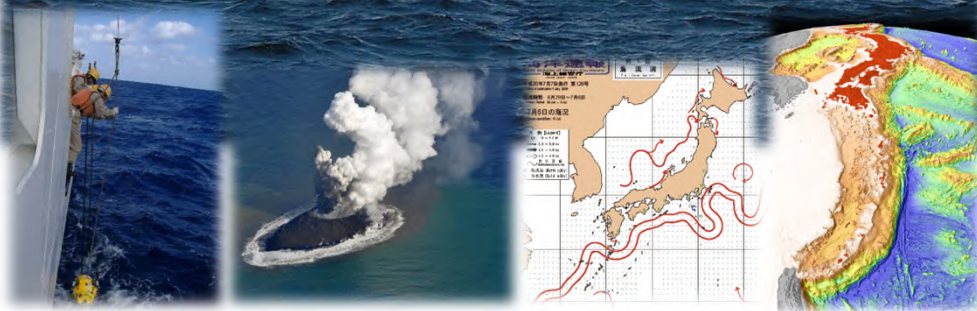
()は女性の人数

海上保安庁海洋情報部 採用情報

< 国家公務員試験 総合職技術系採用 >



海の情報は未来を拓く！



お問い合わせ先

海洋情報部 技術・国際課（総合職採用担当）

TEL 03-5500-7122
E-mail saiyou@jodc.go.jp



海上保安庁海洋情報部 青海庁舎

関連webページ

【海洋情報部】

- ・採用情報
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/saiyo.html>
- ・採用情報（総合職職員）
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/saiyou/jinji/index.htm>

【人事院】

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

海を愛し、海に挑む気持ちを求めます！

地球表面の7割を占める海には、未知の世界がまだまだあります。

海洋情報部では、専門知識を有している若者のみならず、柔軟な発想のもと、未知の世界を切り拓きたいというチャレンジ精神や、海に対する旺盛な好奇心を原動力に、積極的かつ果敢に海に挑むさまざまな若者を求めます。



若手職員に質問！

海洋情報部総合職技術系として採用され、実際に働いている若手職員にいろいろ質問してみました。

(情報は平成26年2月時点のものです。)



海洋調査課
平成20年入庁
「理工」(物理・地球科学系)

Q1. 大学時代には何をしていましたか？

気象の研究を行っていました。チベット高原の風や気温等を観測することで、大気と陸の熱のやり取りを把握し、アジアモンスーンの現象解明のための研究を行っていました。

Q2. 実際に入庁してからどんなことをしてきましたか？

米国とのデータ交換に関する協定のための調整や、AUVと呼ばれる最先端の調査機器導入のために大学との共同研究などを行いました。このほか、米国に留学しました。

Q3. 海洋情報部の良いところはどこだと思いますか？

海を舞台にしているところです。これまでに、未発見の海底火山や、水深100 mの海底に沈んでいる船を見つけました。海は日々新たな発見があって楽しいです。

Q4. 入庁してから苦労したことは何ですか？

多様な分野、異なる世代、様々な性格の人々に対して、物事を分かりやすく説明するのに苦労します。論理性はもちろんのこと、相手がどこまで知識や情報を持っているか想像しながら話を行うことが大事です。

Q5. これからどのような人と働いていきたいですか？

「これがやりたい！」とやる気を示せる人です。

Q1. 大学時代には何をしていましたか？

電磁波と磁気を使って分子の構造を見る「核磁気共鳴分光法」について研究していました。サークル活動では、戦国時代の山城の跡地を測って、図面に起こしていました。

Q2. 実際に入庁してからどんなことをしてきましたか？

海図関連では、電子海図の作製や、海図の国際基準の改訂、海図に記載するための海底地形名の検討に携わりました。ほかにも、海上保安庁全体の企画・調整に携わっていました。

Q3. 海洋情報部の良いところはどこだと思いますか？

海洋情報部は小所帯であるため、一人あたりの責任や裁量が大きくなると思います。その一方で、早いうちから大変な仕事を任せられ、苦労しました。

Q4. これからどのような人と働いていきたいですか？

海洋情報部は理系が多い組織ですが、危機管理官庁である海上保安庁の一部です。そのため、物事を論理的にじっくり考える能力だけでなく、「瞬発力」を併せ持つ人と働きたいです。



航海情報課
平成22年入庁
「理工」(化学・生物・薬学系)



環境調査課
平成24年入庁
「農学」(水産系)

Q1. 大学時代には何をしていましたか？

イギリスのメナイ海峡(ウェールズ西部)に生息しているムール貝の餌料環境について研究していました。

Q2. 海洋情報部との出会いを教えてください。

これまで学んできた水産や海洋環境関係の仕事を希望していたので、就職先の選択肢に海洋情報部がありました。

Q3. 実際に入庁してからどんなことをしてきましたか？

東京湾再生プロジェクトに携わり、他省庁や地方自治体との連絡調整を通じて、報告書の作成と次期計画の策定準備を行いました。現在は、海象の観測機器の管理・点検や、人命救助や油防除を目的とした漂流予測プログラムの改修を行っています。

Q4. これからどのような人と働いていきたいですか？

自分の意見をはっきり主張できる人、そして、業務上のお願いや依頼に誠実に対応できる人です。ただし、誠実というのは、できないものに対しては明確に断ることができる、ということも含まれます。

Q1. 海洋情報部との出会いを教えてください。

大学の講義資料を通じて、海洋情報部が海洋調査や情報提供を行っていることを知っていましたし、私自身、海が大好きなので、ずっと海に関わることができる海洋情報部に行きたいと思っていました。

Q2. 実際に入庁してからどんなことをしてきましたか？

海洋情報部で行っているweb-GISに基づく情報提供サービスについて、その維持管理やサービスの向上を行っています。実際に、サービスの利用者からのお問い合わせにも対応しています。

Q3. 海洋情報部の良いところはどこだと思いますか？

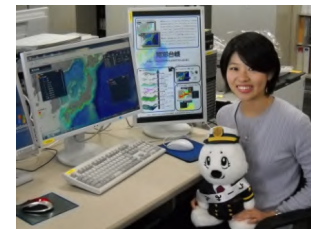
データの観測から公開まで、海洋情報部が一貫して行っているところに魅力があると思います。

Q4. 入庁してから苦労したことは何ですか？

現在業務で扱っているGISの概念やシステムについて、一から勉強しなければいけなかったことです。

Q5. 女性にとって働きやすい職場だと思いますか？

海洋情報部では、一個人として尊重してもらえる環境があるため、女性であることを意識せずに働いています。

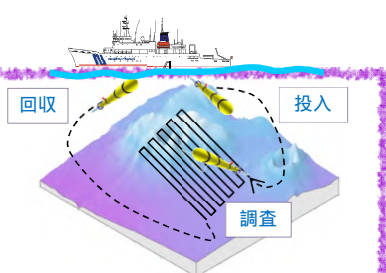


海洋情報課
平成25年入庁
「農業科学・水産」

Keyword

AUV (自律型潜水調査機器)

海底近傍まで潜航のうえ、プログラムされた経路を自動航行しつつ、調査を行う機器のことです。これまでよりも精密なデータを取得できます。平成25年度に導入され、「ごんどう」という愛称で親しまれています。



Keyword

海洋台帳

<http://www.kaiyoudaichou.go.jp>

海洋に関するさまざまな情報(海底地形、水温、航路、灯台、漁業権区域等)を、地図上に重ねて表示することができるインターネットサービスです。掲載情報は100項目を越え、ユーザーの皆さんが自由な発想で使えます。

